

No.	文献名	発行年	雑誌名
1	千木良芳・島袋盛和. 1980. 漢那山におけるイボイモリの側溝への落下について. 沖縄生物学会誌, 18:45-49	1980	沖縄生物学会誌
2	新島漢子. 1981. 関東および中部地方におけるキシヤヤスデの大発生. 土と微生物, (23):15-18	1981	土と微生物
3	小野薫. 1983. OECD道路研究計画「道路に関する環境影響評価と環境保全対策に関するセミナー」. 道路, (504):46-51	1983	道路
4	森康男・土井俊二. 1985. 東富士道路の自然環境保全対策. 高速道路と自動車, 28(1):71-74	1985	高速道路と自動車
5	小林迪子・森本博. 1987. 福井県串小川の水生動物と珪藻群集. 京都府立大学学術報告. 理学・生活科学, 38:5-20	1987	京都府立大学学術報告. 理学・生活科学
6	森康男・小沢徹三. 1988. 道路における自然環境保全対策の効果と評価. 高速道路と自動車, 31(6):28-36	1988	高速道路と自動車
7	森康男・土屋忠三. 1989. 東富士五湖道路の自然景観保全対策とその事後評価. 高速道路と自動車, 32(12):22-30	1989	高速道路と自動車
8	阪口法明・中島和・青山銀三・桑原靖則・池原貞雄・西平守孝. 1989. イリオモテヤマネコの死亡及び捕獲・保護の記録. 沖縄島嶼研究, (7):15-28	1989	沖縄島嶼研究
9	中井三夫. 1991. 高速神奈川3号狩場線の環境保全対策. 道路, (604):13-18	1991	道路
10	藤田真一・厚井弘志・田村担之. 1991. 道路環境保全対策の評価および競合グループ間の合意形成のモデル化. システム制御情報学会論文誌, 4(5):196-203	1991	システム制御情報学会論文誌
11	日本道路公団環境対策課. 1992. 自然にやさしい道(エコロード)をめざして. 建設月報, 45(10):38-40	1992	建設月報
12	吉田幸信・栗原昭司. 1992. エコロードのすすめ. 道路, (618):15-18	1992	道路
13	阪口法明・伊澤雅子. 1992. イリオモテヤマネコ <i>Felis iriomotensis</i> 死亡個体の記録. 沖縄島嶼研究, (10):25-35	1992	沖縄島嶼研究
14	石田稔・西尾崇. 1993. 自然環境に調和した道路整備-エコロード. 土木技術資料, 35(11):51-56	1993	土木技術資料
15	柳川久. 1993. 北海道東部における鳥類の死因. Strix, 12:161-169	1993	Strix
16	石塚昌志・佐藤忠. 1994. 一般国道108号鬼首道路の設計と施工-自然環境に配慮したエコロードをめざして. 土木技術, 49(3):12-13, 25-31	1994	土木技術
17	吉田元一・鈴木茂忠・小野珠乙. 1994. 高速道路により分断された地域のアカネズミの形態・遺伝学的差異. 信州大学農学部紀要, 31(2):109-124	1994	信州大学農学部紀要
18	横山嘉大. 1995. エコロードモデル実験-国道17号行田IC、東名-大井松田IC. 道路, (651):48-52	1995	道路
19	澤志泰正. 1995. ヤンバルクイナの交通事故. しまたてい, (34):9-11	1995	しまたてい
20	渋谷辰生・柳川久. 1995. 北海道東部における野鳥の死因(1994). ワイルドライフ・レポート, (16):171-177	1995	ワイルドライフ・レポート
21	柳川久. 1995. 北海道東部における野鳥の死因-特に人為的原因による死亡例について. 野生動物救護研究会フォーラム報告書, (3・4):67-73	1995	野生動物救護研究会フォーラム報告書
22	建設省東北地方建設局湯沢工事事務所. 1996. 自然に配慮した「エコロード」を目指して. 用地ジャーナル, 5(9):45-48	1996	用地ジャーナル
23	著者不明. 1996. 「切り盛りは最小限」を合い言葉に13.7kmにわたるエコロードが完成. 日経コンストラクション, (172):96-103	1996	日経コンストラクション
24	内丸年雄・吉田好男. 1996. エコロードは緑のリサイクルから. ハイウェイ技術, (5):14-16	1996	ハイウェイ技術
25	森崎耕一・清宮浩. 1996. エコロード整備とピオトープ創出. ハイウェイ技術, (5):9-13	1996	ハイウェイ技術
26	著者不明. 1996. 盛んになるエコロードづくり 管理者にはそれなりの覚悟も必要. 日経コンストラクション, (164):100-105	1996	日経コンストラクション
27	道路緑化保全協会海外エコロード事例調査団. 1996. 緑化紹介 カントリーサイドにおけるエコロードづくり. 道路と自然, 23(4):28-32	1996	道路と自然
28	柳川久・渋谷辰生. 1996. 北海道東部における鳥類の死因 II. 帯広畜産大学学術研究報告(自然科学), 19:251-258	1996	帯広畜産大学学術研究報告(自然科学)

No.	文献名	発行年	雑誌名
29	小河原孝生. 1997. エコロード 生きものにやさしい道づくりの課題. 道路, (678):15-18	1997	道路
30	藤木修・小野寺正明・藤田公典. 1997. 鬼首道路でのエコロードの取り組み. 交通工学, 32(2):47-53	1997	交通工学
31	黒木四男・草野信・奥潤一・春田章博. 1997. 横浜横須賀道路におけるエコロードの取り組み. 土と基礎, 45(1):35-37	1997	土と基礎
32	森崎耕一. 1997. 高速道路の自然環境保全:エコロードをめざして. 土と基礎, 45(1):4-6	1997	土と基礎
33	森崎耕一. 1997. フランス、スイスにおけるエコロードづくり-海外エコロード事例調査団報告. 道路と自然, 24(2):40-43	1997	道路と自然
34	藤木修・小野寺正明. 1997. 緑化紹介 鬼首道路でのエコロードの取り組み. 道路と自然, 24(2):18-21	1997	道路と自然
35	山田一雄・大越良記. 1997. 景観保全対策としてののり面再緑化. ハイウェイ技術, (8):16-19	1997	ハイウェイ技術
36	桃井節也・青山実伸・春田章博. 1997. ギフチョウを守る-山陽自動車道におけるギフチョウの保全対策. 道路と自然, 24(2):32-35	1997	道路と自然
37	柳川久. 1997. 野生動物はどのような原因で死んでいるか?-特に人為的原因について. ワイルドライフ・レポート, (17):74-79	1997	ワイルドライフ・レポート
38	千葉一成・渡辺修・丹羽真一. 1997. 大雪山国立公園東部におけるエゾシカの空間的・季節的な土地利用様式(II)-国道法面の利用-. ひがし大雪博物館研究報告, (19):79-84	1997	ひがし大雪博物館研究報告
39	藤森茂之. 1998. エコロード:自然環境に配慮した道路建設の進め方. 環境技術, 27(9):679-683	1998	環境技術
40	前河正昭. 1998. 動物用移動経路における生態的機能評価のための自動撮影システムの開発. 長野県自然保護研究所紀要, (1):65-69	1998	長野県自然保護研究所紀要
41	楊海軍・丸山純孝・土谷富士夫・水谷敦司. 1998. 景観保全の視点からみた森林から人工草地化への影響. 日本緑化学会誌, 24(2):80-89	1998	日本緑化学会誌
42	柳川久. 1998. エゾリスの交通事故とその対策-帯広市における取り組み. リスとムササビ, (3):7-8	1998	リスとムササビ
43	柳川久. 1998. エゾリスのエコブリッジ利用. リスとムササビ, (4):7	1998	リスとムササビ
44	築瀬知史. 1999. 道路建設におけるロードキル減少に向けた野生動物保全. ハイウェイ技術, (14):39-43	1999	ハイウェイ技術
45	荒井秋晴. 1999. やさしい知識 ロードキル. 地質と調査, 1999(3):40-44	1999	地質と調査
46	築瀬知史. 1999. エコロード追跡調査-自然環境保全対策の効果と課題. ハイウェイ技術, (14):44-49	1999	ハイウェイ技術
47	亀山章. 1999. エコロード-自然環境との共生. 道路と自然, 26(4):6-9	1999	道路と自然
48	亀山章. 1999. 未来の生活科学 交通事故から動物を守れ-エコロードの科学. 市政, 48(7):94-97	1999	市政
49	小澤徹三. 1999. エコロード整備のための生態系評価および回復手法の検討. 地質と調査, 1999(1):7-11	1999	地質と調査
50	著者不明. 1999. ユーザーズ・アイ 生態系に優しい土木とは?-[配慮したつもり]「つくりっぱなし」が生きものたちを悩ませる. 日経コンストラクション, (226):94-107	1999	日経コンストラクション
51	津堅信之. 1999. エコロードの今後に対する提言. 道路と自然, 26(2):44-46	1999	道路と自然
52	岡崎弘幸. 1999. 東京都におけるムササビ <i>Petaurista leucogenys</i> の分布と生息地の分断化. 哺乳類科学, 39(1):169-173	1999	哺乳類科学
53	筒淵美幸・権田久美子・柳川久. 1999. 北海道東部における鳥類の死因. IV. 十勝地方における交通事故. 帯広畜産大学学術研究報告(自然科学), 21:41-47	1999	帯広畜産大学学術研究報告(自然科学)
54	柳川久・筒淵美幸. 1999. 交通事故によるベニヒワの大量死. Strix, 17:177-180	1999	Strix
55	川辺百樹・田中康夫・会田美帆子. 1999. 大雪山国立公園におけるエゾクロテンの交通事故. ひがし大雪博物館研究報告, (21):79-82	1999	ひがし大雪博物館研究報告
56	井上浩三. 2000. 滋賀県生物環境アドバイザー制度と事例紹介-自然を守り育む道(エコロード). 月刊建設, 44(6):18-20	2000	月刊建設

No.	文献名	発行年	雑誌名
57	著者不明. 2000. 「エコロード」という発想-道路開発と自然環境保全の両立はできるのか. リラティオ, 2(2):44-47	2000	リラティオ
58	秋沢成江・柳川久. 2000. 大雪山国立公園, 黒石平における繁殖地に隣接する道路でのエゾアカガエルの交通事故. ひがし大雪博物館研究報告, (22):25-27	2000	ひがし大雪博物館研究報告
59	川辺百樹・中岡利泰. 2000. 北海道におけるエゾナキウサギの南限の生息地. ひがし大雪博物館研究報告, (22):9-11	2000	ひがし大雪博物館研究報告
60	北原正彦・藤井 猛・今木洋大・渡辺 牧. 2001. 富士山周辺におけるロードキル発生状況の解析(予報). ワイルドライフ・フォーラム, 6(3):101	2001	ワイルドライフ・フォーラム
61	前河正昭. 2001. 志賀高原のエコロード対策工における設置効果モニタリング(冬季オリンピック関連事業の自然環境への影響と対応に関する調査研究). 長野県自然保護研究所紀要, 4:45-53	2001	長野県自然保護研究所紀要
62	大内千秋. 2001. 緑化紹介日本編 東富士五湖道路におけるエコロード追跡調査. 道路と自然, 29(1):24-29	2001	道路と自然
63	石田健. 2001. 東京大学秩父演習林の国道140号線施設地域におけるツキノワグマ個体群の生息状況. 東京大学農学部演習林報告, (105):91-100	2001	東京大学農学部演習林報告
64	大河内勇・大川畑修・倉品伸子. 2001. 道路側溝での両生類の転落防止方法. 日本林学会誌, 83:125-129	2001	日本林学会誌
65	岡部佳容・野呂美紗子・柳川久. 2001. オーバーブリッジを利用するシマリス. リストムササビ, (9):15	2001	リストムササビ
66	柳川久・野呂美紗子・岡部佳容. 2001. ボックスカルバートを利用するコウモリ. コウモリ通信, 9:11-13	2001	コウモリ通信
67	比嘉真孝・宮里春喜. 2002. 北部国道事務所における自然環境保全への取り組み-オカガニ類のロードキル対策. 月刊建設, 46(6):18-20	2002	月刊建設
68	著者不明. 2002. 土木ルポ エコロード『甲子道路』初のシャイベアーチ三位一体で挑む-エコロードの核心に雨沼橋. 橋梁&都市project, 38(11):11-13	2002	橋梁&都市project
69	酒井宏. 2002. エコロード 甲子道路の事業進捗について. 橋梁&都市project, 38(11):5-10	2002	橋梁&都市project
70	川岸公文. 2002. 一般国道334号斜里エコロードについて. 土木学会誌, 87(9):26-27	2002	土木学会誌
71	五十嵐敏彦・竹花大介・源代篤史. 2002. エゾシカを対象とするエコロード計画のポイント道道花咲港温根沼線の場合. 土木学会論文集, (713):187-192	2002	土木学会論文集
72	増田孝幸・山邊満・高井光彦. 2002. 横川ダム建設における環境への配慮-エコロードを例として. 北陸地方整備局管内技術研究会論文集, 2002年度:321-324	2002	北陸地方整備局管内技術研究会論文集
73	著者不明. 2002. カラー Now & Future 環境に優しい道“エコロード”. 働く人の安全と健康, 53(7):625-627	2002	働く人の安全と健康
74	日本道路公団企画部道路環境課. 2002. エコロードの整備. 道路行政セミナー, 13(1):20-23	2002	道路行政セミナー
75	伊藤岳司・藤田英郎・木保誠. 2002. 一般国道334号斜里エコロード整備事業の事業概要および成果について. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:85-90	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
76	増田泰. 2002. エコロードから野生動物保護を考える. 滋賀県琵琶湖研究所所報, (19):78-82	2002	滋賀県琵琶湖研究所所報
77	鈴木圭太・大窪久美子・澤島拓夫. 2002. 長野県伊那盆地におけるダルマガエルの生息状況とカエル類生息地としての水田の現状. ランドスケープ研究, 65(5):517-522	2002	ランドスケープ研究
78	森崎耕一・田村崇. 2002. 圏央道青梅IC～日の出IC間における環境保全対策. ハイウェイ技術, (23):297-104	2002	ハイウェイ技術
79	日本道路公団東京建設局八王子工事事務所施設工事班. 2002. 緑化紹介 圏央道青梅～日の出間における緑化および自然環境保全対策. 道路と自然, 29(4):24-26	2002	道路と自然
80	太田政一・樺澤英範・横山朋紀. 2002. キタサンショウウオの生息地保全に向けての試み. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:13-18	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
81	柳川久. 2002. 北海道十勝地方における野生動物の交通事故の現状とその防止策. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:67-74	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
82	齊藤慶輔. 2002. シマフクロウ (<i>Ketupa blakistoni</i>) の交通事故-野生動物医学的考察-. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:27-30	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
83	齊藤慶輔. 2002. 北海道における大型希少猛禽類の事故及びその対策 特に交通事故と感電事故について. モーリー, (21):26-29	2002	モーリー
84	小松裕幸. 2002. 山梨県大月市の住宅団地・パストラルびゅう桂台でニホンリス用の吊橋を設置. 樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書:5-17	2002	樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書

No.	文献名	発行年	雑誌名
85	増田泰. 2002. 斜里町におけるオーバーブリッジ実践例. 樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書:5-17	2002	樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書
86	小川巖. 2002. 札幌市北区ポプラ通りにおけるエコ・ブリッジについて. 樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書:25-32	2002	樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書
87	佐藤公昭. 2002. エゾリスのためのエコ・ブリッジ構造検討に関する報告. 樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書:33-45	2002	樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書
88	柳川久. 2002. 北海道十勝地方における野生動物の交通事故の現状とその防止策. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:67-74	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
89	柳川久. 2002. リス用横断構造物に関するいくつかの課題. 樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書:18-24	2002	樹上性動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ報告書
90	柳川久・山口裕司. 2002. 北海道帯広市にできたモモンガの橋. リスとムササビ, (11):2-4	2002	リスとムササビ
91	野呂美紗子・柳川久. 2002. 十勝管内の国道におけるエゾシカの交通事故の特徴とその原因について(予報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 1:75-80	2002	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
92	原文宏. 2003. エゾシカのロードキル対策に関する計画及び設計方法. 国際交通安全学会誌, 28(3):247-254	2003	国際交通安全学会誌
93	谷口 建. 2003. ロードキル. 農業土木学会誌, 71(9):840	2003	農業土木学会誌
94	三好達夫・加治屋安彦・鈴木武彦. 2003. 道路を横断するエゾシカの行動特性の把握について-ITS技術を活用したエゾシカとの交通事故対策に向けて. 北海道開発土木研究所月報, (602):15-20	2003	北海道開発土木研究所月報
95	山本千雅子・岸 邦宏・佐藤馨一. 2003. ロードキルに起因する交通事故の道路管理者責任についての海外判例に関する研究. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 2:61-65	2003	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
96	奥村忠誠・瀧井暁子・小池伸介・羽澄敏裕. 2003. 富士山周辺地域におけるツキノワグマの分布とロードキル問題. ワイルドライフ・フォーラム, 8(3):74-75	2003	ワイルドライフ・フォーラム
97	国土技術政策総合研究所. 2003. エコロード(自然と調和した道づくり). 国土技術政策総合研究所資料, (120):139-145	2003	国土技術政策総合研究所資料
98	篠田貴. 2003. エコロードの効果-日光宇都宮道路の20年にわたる調査結果より. 月刊建設, 47(6):33-35	2003	月刊建設
99	日本道路公団企画部道路環境課. 2003. 紹介 エコロードの効果-日光宇都宮道路の20年にわたる調査結果より. 高速道路と自動車, 46(6):49-53	2003	高速道路と自動車
100	山田一雄. 2003. 研究紹介 JH中国支社におけるエコロード整備-新アセス法を反映してのケーススタディ. 道路と自然, 30(2):28-31	2003	道路と自然
101	篠田貴・小野秀樹. 2003. 緑化紹介 秋田道エコロード追跡調査. 道路と自然, 30(2):18-22	2003	道路と自然
102	岸井隆幸. 2003. エコロードビジネス研究への期待とその展望について. Traffic & business, (70):10-12	2003	Traffic & business
103	マハムトハリク・増田隆一・アブリミットアブダカディル・大泰司紀之. 2003. 中国新疆ウイグル自治区に分布する哺乳類の現況と保全. 哺乳類科学, 43(1):1-17	2003	哺乳類科学
104	石田健・橋本幸彦・大村和也・澤田晴雄・芝野伸策・山中隆平. 2003. 秩父演習林におけるツキノワグマ捕獲・計測記録. 演習林, (42):133-141	2003	演習林
105	谷崎美由記・前田敦子・柳川久. 2003. 道路建設に伴うコウモリ類への保全対策とそのモニタリング. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 2:53-60	2003	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
106	堀内輝亮. 2003. 霞ヶ浦における湖岸植生帯の保全対策について. 道路と自然, 30(4):12-14	2003	道路と自然
107	柳川久・野呂美紗子・西村千穂・室瀬秋宏. 2003. 大雪山国立公園におけるエゾアカガエルに対する交通事故防止策の効果. ひがし大雪博物館研究報告, (25):57-60	2003	ひがし大雪博物館研究報告
108	阿久沢正夫. 2003. 日本産ヤマメコノ保護と自然環境. 鹿児島大学学術報告, 53:43-49	2003	鹿児島大学農学部学術報告
109	川辺百樹・田中康夫. 2003. 音更川上流域におけるエゾタヌキの交通事故. ひがし大雪博物館研究報告, (25):53-56	2003	ひがし大雪博物館研究報告
110	谷崎美由記・前田敦子・柳川久. 2003. 道路建設に伴うコウモリ類への保全対策とそのモニタリング. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 2:53-60	2003	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
111	上田理恵・柳川久. 2003. リス科動物の棒・綱渡り実験. リスとムササビ, (13):4-6	2003	リスとムササビ
112	柳川久・秋沢成江・筒瀬美幸. 2003. 北海道十勝地方におけるコウモリ類の交通事故. コウモリ通信, 11:9-10	2003	コウモリ通信

No.	文献名	発行年	雑誌名
113	柳川久・上田理恵. 2003. 北海道におけるエコブリッジ(樹上性動物用ブリッジ)の現状と課題. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 2:45-52	2003	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
114	野呂美紗子・柳川久. 2003. 道路周辺のエゾシカと事故数との関係ー国道273号を例としてー. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 2:75-80	2003	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
115	人見 功. 2004. 中学校における自然学習・環境学習の事例研究:(3)野生動物のロードキル問題を中心に. 奈良教育大学付属自然環境教育センター紀要, 6:39-54	2004	奈良教育大学付属自然環境教育センター紀要
116	小高信彦・澤志泰正. 2004. ヤンバルクイナのロードキル. 山階鳥類学雑誌, 35(2):134-143	2004	山階鳥類学雑誌
117	並河良治・大西博文・曾根真理・角湯克典・桑原正明・川上篤史. 2004. ロードキル防止技術に関する研究-哺乳動物の生息域保全に向けて-. 国土技術政策総合研究所資料, (152):1-103	2004	国土技術政策総合研究所資料
118	井田宏之・伊吾田宏正・立木靖之. 2004. ロードキル対策としての捕獲(狩猟)の可能性の検討. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 3:67-72	2004	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
119	高橋博己・藤崎稔彦・山本彰. 2004. 横川ダム建設における環境への配慮-エコロードの利用状況について(追加報告). 北陸地方整備局管内技術研究会論文集, 2004年度:181-184	2004	北陸地方整備局管内技術研究会論文集
120	中越信和. 2004. 事例 道路緑地の整備手法-エコロードの追及. 土木施工, 45(5):67-71	2004	土木施工
121	足立克久. 2004. 緑化紹介日本編 伊勢自動車道におけるエコロード追跡調査. 道路と自然, 32(1)18-23	2004	道路と自然
122	長澤良太・鈴木加奈子. 2004. GISを用いた鳥取県における森林植生パッチの解析. 鳥取大学農学部演習林研究報告, 28:27-36	2004	鳥取大学農学部演習林研究報告
123	小林尚・北野聡・山形哲也・上原武則. 2004. 木曾川上流域におけるアジメドジョウ <i>Niwaella delicata</i> の分布. 長野県自然保護研究所紀要, 7:23-28	2004	長野県自然保護研究所紀要
124	篠田貴. 2004. 緑化紹介 交通インフラによる野生生物の生息地分断に関する国際会議に参加して. 道路と自然, 31(3):22-24	2004	道路と自然
125	丸井英幹・山崎俊哉・梅原徹・黒崎史平・小林禧樹. 2004. 絶滅危惧種ハリマムシグサ (<i>Arisaema minus</i> (Serizawa) J. Murata) の保全対策としての移植事業I:生育環境と移植条件. 保全生態学研究, 9(2):173-182	2004	保全生態学研究
126	大石麻美・小林清勇・関島恒夫・正富宏之. 2004. 農耕地で繁殖するタンチョウの採餌環境への順応性. 保全生態学研究, 9(2):107-116	2004	保全生態学研究
127	小高信彦・澤志泰正. 2004. ヤンバルクイナの交通事故死. 遺伝, 59:40-44	2004	遺伝
128	柳川久・浅利裕伸・岸田久美子・木村誠一・北清竜也. 2004. 北海道帯広市のモモンガ用道路横断構造物とそのモニタリング. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 3:13-18	2004	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
129	柳川久・野呂美紗子・岡部佳容・谷崎美由記・前田敦子. 2004. 北海道におけるコウモリ類による各種カルバートの利用. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 3:7-12	2004	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
130	野呂美紗子・原文文宏・伊田宏之・伊吾田宏正. 2005. エゾシカのロードキル対策の検討に向けて-光に対する反応実験(中間報告). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 4:69-74	2005	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
131	伊藤和久・原田吉信. 2005. 鬼首道路-エコロード追跡調査結果から見たピオトープの形成. 道路と自然, 32(2):6-9	2005	道路と自然
132	阿部学・椎本謙次・小坂秀樹・神岡久彰・益岡卓史. 2005. 紹介 道路整備に係る猛禽類保全対策の人工代替巣設置効果について. 高速道路と自動車, 48(4):33-41	2005	高速道路と自動車
133	池竹規夫. 2005. 緑化紹介日本編 横浜市の環状2号線における自然環境保全対策-市街地の貴重な生態系をまもる取り組み. 道路と自然, 32(2):18-21	2005	道路と自然
134	浅利裕伸・柳川久・岩永将史・宮西功喜. 2005. 北海道帯広市のモモンガ用道路横断構造物のモニタリング(第2報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 4:55-60	2005	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
135	柳川久. 2005. 日高山脈南東部のコウモリ類-大規模林地予定地でのコウモリ調査. 北海道の自然, (43):61-64	2005	北海道の自然
136	柳川久・村木尚子. 2005. 野生動物にとっての樹洞の有用性とその保全例. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 4:61-66	2005	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
137	安田宣敏・戸田ちづる・三吉宣彰・伊澤雅子・阿久沢正夫. 2005. 日本産ヤマメコノ死因調査. 鹿児島大学農学部学術報告, 53:23-30	2005	鹿児島大学農学部学術報告
138	佐藤暁子・米村惣太郎・亀山 章. 2006. ニホンリス (<i>Sciurus lis</i>) の生息環境におけるエコブリッジの効果. 日本緑化工学会誌, 32(1):32-37	2006	日本緑化工学会誌
139	田中俊輔・野呂美紗子・原文文宏・武市 靖. 2006. エゾシカのロードキル対策の検討に向けて-点滅光に対する反応実験. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:31-36	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
140	野呂美紗子・原文文宏・田邊慎太郎・伊藤岳司・萩原 享. 2006. ロスプリベンションの視点から見たエゾシカのロードキル. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:21-24	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集

No.	文献名	発行年	雑誌名
141	荒木奈津子・野呂美紗子・Buhe Aossier・赤坂宗光・吉村暢彦・金子正美. 2006. 自然環境要因からみたエゾタヌキのロードキルの傾向. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:11-16	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
142	三好達夫・加治屋安彦・山際祐司. 2006. エゾシカと車両との衝突事故に関する効果的対策の検討. 北海道開発土木研究所月報, (633):24-30	2006	北海道開発土木研究所月報
143	国土交通省道路局企画課道路事業分析評価室. 2006. エコロードキャンペーンの実施について-京都議定書のCO2削減目標の達成のために. 高速道路と自動車, 49(11):36-38	2006	高速道路と自動車
144	国土交通省道路局企画課道路事業分析評価室. 2006. エコロードキャンペーンの実施について-京都議定書のCO2削減目標の達成のために. 道路行政セミナー, 17(7):19-21	2006	道路行政セミナー
145	国土交通省湯沢河川国道事務所・宮城県大崎土木事務所・秋田雄勝地域振興局. 2006. 緑化紹介菊地道路環境賞 鬼首道路 エコロードの取り組み. 道路と自然, 34(1):28-30	2006	道路と自然
146	秋保秀二郎・吉田敬浩・三条光司. 2006. 一般国道39号「北見道路」におけるニホンザリガニの環境保全対策について. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:37-44	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
147	宇治正人・原雅之. 2006. 緑化紹介 圏央道日の出〜あきる野間における緑化および自然環境保全対策. 道路と自然, 33(3):26-28	2006	道路と自然
148	芳賀馨・伊藤勝彦・柴多浩一. 2006. 上土幌町黒石平において道路の水銀灯で採集された甲虫類について. ひがし大雪博物館研究報告, (28):39-58	2006	ひがし大雪博物館研究報告
149	葦名千尋・柳川久. 2006. 大雪山国立公園黒石平のエゾアカガエル <i>Rana pirica</i> に対する道路横断用スロープの有効性. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:45-48	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
150	柳川久. 2006. 野生動物と道路-交通事故, 生息地分断とその対策-. コンサルタンツ北海道, (109):8-11	2006	コンサルタンツ北海道
151	宮西功喜・岩永将史・齋藤裕・佐々木勝美. 2006. 猛禽類の調査と対策の事例-生態調査と営巣に配慮した施工-. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:65-70	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
152	浅利裕伸・柳川久. 2006. 道路などで分断された森林に生息するエゾモモンガの移動. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:57-64	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
153	柳川久・瀧本育克・立神雅宣・宮西功喜・岩永将史・齋藤裕. 2006. 北海道帯広市のコウモリ用エコボックスカルバートとそのモニタリング. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:49-56	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
154	鹿野たか嶺・柳川久・野呂美紗子・原文宏・神馬強志. 2006. 道路沿いに出現するエゾシカに対する鹿笛の有効性. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 5:25-30	2006	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
155	阿部 豪. 2007. 研究紹介 エゾタヌキのロードキル増加要因の解明. 道路と自然, 34(2):36-39	2007	道路と自然
156	三村啓子. 2007. 首都高エコロード・フェスタ2007. 高速道路と自動車, 50(10):46-49	2007	高速道路と自動車
157	猪狩倫. 2007. 一般国道289号荷路夫バイパスの取り組みについて-第二世代のエコロード-. 月刊建設, 51(7):18-20	2007	月刊建設
158	岸井隆幸・俣野実. 2007. エコロードと最先端環境技術. 環境管理, 43(6):575-581	2007	環境管理
159	国土交通省道路局企画課道路事業分析評価室. 2007. エコロードキャンペーンの実施について-京都議定書のCO2削減目標の達成のために. 道路, (791):37-39	2007	道路
160	今野靖規. 2007. 緑化紹介日本編 横浜横須賀道路エコロード整備について-横須賀PAビオトープ・多種多様な環境形成を目指して. 道路と自然, 34(3):22-25	2007	道路と自然
161	山浦悠一. 2007. 広葉樹林の分断化が鳥類に及ぼす影響の緩和:人工林マトリックス管理の提案. 日本森林学会誌, 89(6):416-430	2007	日本森林学会誌
162	国土交通省関東地方整備局相武国道事務所計画課・中日本高速道路(株)横浜支社八王子工事事務所技術課. 2007. 施工研究 圏央道の環境保全対策. 土木施工, 48(6):54-57	2007	土木施工
163	加藤正・太田垣貴啓. 2007. 各高速道路の休憩施設と環境保全対策の現状について. 道路と自然, 34(2):19-22	2007	道路と自然
164	赤坂卓美・柳川久・中村太士. 2007. コウモリ類による日中のねぐらとしての橋梁の利用-北海道帯広市の事例-. 保全生態学研究, 12:87-93	2007	保全生態学研究
165	立神雅宣・瀧本育克・柳川久・中村智・佐々木一靖. 2007. 北海道帯広市のコウモリ用カルバートのモニタリング(第2報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 6:57-64	2007	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
166	立神雅宣・柳川久. 2007. コウモリ用ボックスカルバートの利用状況. コウモリ通信, 15(1):15-17	2007	コウモリ通信
167	鹿野たか嶺・野呂美紗子・柳川久・神馬強志. 2007. 音を用いたエゾシカの交通事故対策の検討(中間報告). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 6:83-88	2007	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
168	河崎拓実・高橋克也・井内彰宏. 2008. GPS携帯電話を用いた動物事故処理記録収集システムによる新たな取組み-ロードキルデータ記録作業の効率化と事故の削減のために. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:105-108	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集

No.	文献名	発行年	雑誌名
169	福原潤二・上村達也・小湊 梓. 2008. 一般国道におけるエゾシカ横断ポイントの集約によるロードキル対策について. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:91-96	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
170	山田芳樹・佐々木 均・水間夕貴・川村理沙・原内 裕. 2008. 道路が昆虫の生息に及ぼす影響-支笏湖付近の道路におけるトンボのロードキル(予報)-. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:73-78	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
171	松田賢・松田好生. 2008. 北近畿豊岡自動車道における「ウツギノヒメハナバチ群生地」の保全対策. 昆虫と自然, 43(6):16-20	2008	昆虫と自然
172	豊島真生・内山秀樹・佐藤公俊. 2008. 北見道路における自然環境保全・再生の取り組みについて-ニホンザリガニの環境保全対策と伐り株移植による樹林再生. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:41-48	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
173	野呂美紗子・原文宏・萩原亨. 2008. エゾシカの交通・列車事故にみる共通性-データの特徴に着目して. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:87-90	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
174	平井克亥・瀧本育克・柳川久. 2008. 北海道十勝地方におけるオオタカとハイタカの営巣環境とその保全. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:51-56	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
175	浅利裕伸・柳川久. 2008. 北海道帯広市に設置されたモモンガ用道路横断構造物のモニタリング. ANIMATE, 7:44-49	2008	ANIMATE
176	石井健太・柳川久・中島宏章. 2008. コウモリ類にとつての防風林の有用性について. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:61-66	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
177	東城里絵・浅利裕伸・柳川久. 2008. 十勝地方の防風保安林に生息するエゾモモンガの生態とその保全. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 7:35-40	2008	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
178	福原潤二. 2009. 一般国道36号におけるエゾシカのロードキル対策. モーリー, (21):14-16	2009	モーリー
179	山田芳樹・佐々木 均・原内 裕. 2009. 支笏湖付近の道路におけるチョウ類のロードキル(予報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:5-8	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
180	黒瀬奈緒子・宮野典夫. 2009. 長野県大町市におけるロードキル発生状況と個体情報-中型食肉目を中心とした交通事故死体の有効活用. 志賀自然教育研究施設研究業績, (46):1-9	2009	志賀自然教育研究施設研究業績
181	亀山章. 2009. 自然公園とエコロード. 国立公園, (677):9-12	2009	国立公園
182	室伏幸一・朝倉俊治・尾崎俊彦・安藤辰夫. 2009. 道路盛土法面における森林表土を用いた緑化試験. 日本緑化学会誌, 35(1):134-137	2009	日本緑化学会誌
183	田口勇輝・夏原由博. 2009. オオサンショウウオが遡上可能な堰の条件. 保全生態学研究, 14(2):165-172	2009	保全生態学研究
184	吉田充秀・内山秀樹・佐藤公俊. 2009. 北見道路における自然環境保全・再生の取り組みについて-ニホンザリガニの環境保全対策と伐り株移植による樹林再生(続報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:25-32	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
185	鹿野たか嶺・野呂美紗子・原文宏. 2009. エゾシカの列車事故の傾向を探る. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:53-58	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
186	西島浩. 2009. 昆虫の交通事故. モーリー, (21):42-44	2009	モーリー
187	吉田剛司・徳田龍弘・本田直也. 2009. 爬虫類・両生類の事故 小さな者たちにもっと配慮を. モーリー, (21):17-19	2009	モーリー
188	富川徹・石田裕一・中村茂. 2009. 積丹半島主要道路におけるイワツバメの構造物利用動向-簡易調査による1997~2006年の営巣利用調査-. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:87-94	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
189	浅利裕伸・東城里絵・原口墨華・柳川久. 2009. エゾモモンガの生態を考慮した保全対策の検討. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:67-72	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
190	岡部佳容・野呂美紗子・柳川久. 2009. 北海道東部の高速道路における道路横断構造物の動物による利用とその調査方法の検討. 帯広畜産大学学術研究報告, 30:61-70	2009	帯広畜産大学学術研究報告
191	谷崎美由記・石塚正仁・柳川久・鶴谷孝一・浅野哉樹. 2009. 北海道帯広市のコウモリ用ボックスカルバートのモニタリング(続報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:95-102	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
192	明石宏作・柳川久. 2009. 秋期におけるエゾシカの交通事故と道路環境との関係. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:9-14	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
193	福原潤二. 2009. 一般国道36号におけるエゾシカのロードキル対策. モーリー, (21):14-16	2009	モーリー
194	柳川久・新津秀幸・幡鎌俊昭・小川雅敏. 2009. 道東道サービスエリアにおけるバードハウスを用いた環境教育と生態系サービス. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 8:73-78	2009	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
195	森 貴久・伊部 弘・小倉久美子・佐藤蒼康・大谷 結. 2010. ヤンバルクイナの交通事故リスクに関わる要因. 保全生態学研究, 15(1):61-70	2010	保全生態学研究
196	高槻成紀・立脇隆文. 2010. ロードキル展の記録. 麻布大学雑誌, 21・22:123-127	2010	麻布大学雑誌

No.	文献名	発行年	雑誌名
197	岡崎幹人・中村麻理子・鮫島正道. 2010. 徳之島におけるイボイモリ <i>Tylototriton andersoni</i> の生態とロードキルの保全対策. カゴシマネイチャー, 36:1-10	2010	カゴシマネイチャー
198	園田陽一・松江正彦. 2010. 野生動物の道路横断施設の現状とその効果. 土木技術資料, 52(10):6-9	2010	土木技術資料
199	中山智晴. 2010. 自然との共生を目指したエコロードの設計・施工. 骨材公園, 42(167):127-134	2010	骨材公園
200	船橋勝幸. 2010. ニューギニア島産 <i>Delias nais</i> 及び <i>D. zebra</i> (鱗翅目、シロチョウ科) の検討. 蝶と蛾, 60(4):237-244	2010	蝶と蛾
201	長岡一成・生田俊裕・黒木隆. 2010. 現場報告 川辺川ダム事業におけるこれまでの環境保全対策とその効果-付替道路にもちょっとひと工夫. ダム技術, (283):35-39	2010	ダム技術
202	平井克亥・柳川久. 2010. 北海道十勝平野における猛禽類の営巣環境:特にノスリとオオタカについて. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 55-60	2010	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
203	森貴久・伊部弘・小倉久美子・佐藤菅康・大谷結. 2010. ヤンバルクイナの交通事故リスクに関わる要因. 保全生態学研究, 15:61-70	2010	保全生態学研究
204	本田裕子・林宇一・玖珠博一・前田剛・佐々木真二郎. 2010. ツシマヤマメコ保護に関する住民意識-対馬市全域住民を対象にしたアンケート調査から. 東京大学農学部演習林報告, 122:41-64	2010	東京大学農学部演習林報告
205	中西希・伊澤雅子・寺西あゆみ・土肥昭夫. 2010. ツシマヤマメコの交通事故遭遇個体の年齢構成. 保全生態学研究, 15:39-46	2010	保全生態学研究
206	小野香苗・柳川久. 2010. 樹上性小型哺乳類およびコウモリ類による道路横断構造物利用のモニタリング. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 9:73-78	2010	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
207	鹿野たか嶺・柳川久・野呂美紗子・原文宏・神馬強志. 2010. 交通事故防止を目的としたエゾシカに対するディアホイッスルの有効性. 野生生物保護, 12:39-46	2010	野生生物保護
208	柳川久・奥潤一・新津秀幸・小川雅敏. 2010. バードハウスが繋ぐ鳥と人と道路-道東自動車道SA、PAIにおける例-. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 9:67-72	2010	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
209	園田陽一・武田ゆうこ・松江正彦. 2011. 野生動物におけるロードキル、バリアー効果とミティゲーション技術に関する研究の現状と課題. ランドスケープ研究(オンライン論文集), 4:7-16	2011	ランドスケープ研究
210	中桐齊之・向坂幸雄・泰中啓一. 2011. 確率格子モデルを用いた生息地分断化の解析:空間の効果の有効性. 数理解析研究所講義録, 1751:159-164	2011	数理解析研究所講義録
211	李密・周紅春・譚濟才・劉國華・黃國華・広渡俊哉. 2011. 中国湖南省におけるシナギフチョウの発見と保全に関する知見. 蝶と蛾, 62(1):35-40	2011	蝶と蛾
212	高中健一郎・山縣瑞恵・安藤元一・小川博. 2011. 小型哺乳類の側溝脱出に影響を及ぼす諸要因と脱出用スロープの有効性. 東京農業大学農学集報, 56(2):111-117	2011	東京農業大学農学集報
213	齊藤慶輔・渡辺有希子. 2011. 北海道におけるオオワシ・オジロワシのレールキル~保全医学的考察と対策の検討~. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 10:81-86	2011	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
214	家入明日美・佐藤周平・柳川久. 2011. 低標高域に生息するエゾナキウサギの生態と保全. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 10:87-92	2011	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
215	佐々木康治・佐々木香織・小野香苗・野口貴生・柳川久. 2011. 樹上性小型哺乳類およびコウモリ類による道路横断構造物利用のモニタリング(続報). 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 10:93-101	2011	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
216	奥潤一・小川雅敏・新津秀幸・柳川久. 2011. 道東自動車道におけるバードハウス事業の展開. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 10:51-56	2011	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
217	前田敏章. 2012. ロードキルが原因の交通事故をめぐる国家賠償裁判例を通して、高校生が学んだ交通の課題. クルマ社会を問い直す, (69):6-15	2012	クルマ社会を問い直す
218	小林聡・阿部聖哉・松木吏弓. 2012. 環境アセスメントにおける生物多様性保全のための調査手法の開発:遺伝学的手法を用いた生息地の分断化の評価. 電力中央研究所研究報告, 1-12	2012	電力中央研究所研究報告
219	平井克亥・安部文子・柳川久. 2012. ハイタカの研究史とそれに基づく保全への提言:特に営巣環境について. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 11:19-26	2012	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
220	齊藤久・柳川久・浅利裕伸. 2012. コウモリ用人工罅の現状及び罅創出の課題. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 11:27-34	2012	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集
221	柳川久・岩崎信治・幡鎌俊昭・奥潤一・三井康洋・水口和之・新津秀幸. 2012. 道東自動車道のサービスエリア、パーキングエリアにおける教育活動. 「野生生物と交通」研究発表会講演論文集, 11:45-50	2012	「野生生物と交通」研究発表会講演論文集